

77R&C

# 調査月報

2023.

3

■宮城県経済の動き	-----	1
■データで見る宮城県 震災前後の経済指標	-----	12
■主要経済指標	-----	13
■経済日誌	-----	17

七十七リサーチ&コンサルティング株式会社

## 宮城県経済の動き

最近の県内景況をみると、一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している。

## 概況

生産は、弱含みの動きとなっている。需要面の動きをみると、公共投資は弱めの動きとなっている。住宅投資は持ち直しの動きが鈍化している。個人消費は一部に弱めの動きがあるものの、総じて緩やかに持ち直している。雇用情勢はバラツキがあるものの、全体としては持ち直している。

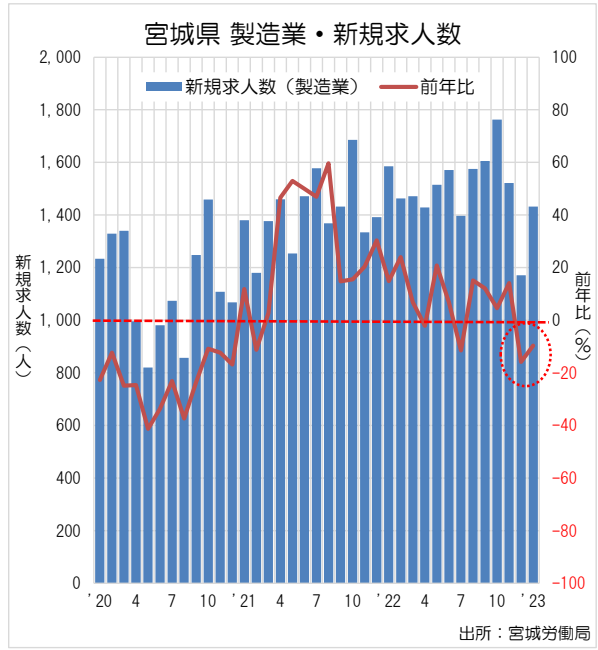
(参考) 県内景況判断の推移

	2023年1月	2月	3月
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している (据え置き)	一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している (据え置き)	一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している (据え置き)
生産	<u>基調としては持ち直しに向けた動きとなっているが、一部で弱含んでいる</u>	<u>基調としては持ち直しに向けた動きとなっているが、一部で弱含んでいる</u>	<u>弱含みの動きとなっている</u>
公共投資	下げ止まりの動きがみられる	<u>弱めの動きとなっている</u>	弱めの動きとなっている
住宅投資	持ち直している	<u>持ち直しの動きが鈍化している</u>	持ち直しの動きが鈍化している
個人消費	一部に弱めの動きがあるものの、総じて緩やかに持ち直している	一部に弱めの動きがあるものの、総じて緩やかに持ち直している	一部に弱めの動きがあるものの、総じて緩やかに持ち直している
雇用情勢	バラツキがあるものの、全体としては持ち直している	バラツキがあるものの、全体としては持ち直している	バラツキがあるものの、全体としては持ち直している
	2022年4~6月	7~9月	10~12月
企業状況の感	<u>厳しさが残るものの総じて緩やかな持ち直しの動きとなっている</u>	<u>持ち直しの動きに足踏みがみられる</u>	<u>一部に弱い動きがみられるものの、総じて緩やかに持ち直している</u>

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

## 今月のポイント

県内景気はCOVID-19の影響が後退してリベンジ消費がみられる一方、コスト・プッシュ型の物価上昇が足かせとなっています。また、海外経済がインフレや政策金利の引上げなどにより減速しつつあり、堅調だったグローバルなIT需要にも騒りがみられ、半導体関連の設備投資や生産が調整局面を迎えています。原材料や電力の価格高騰に見舞われている製造業では、先行き受注環境の不透明さなどから労働需要減退の兆しもみられ、県内景気の新たな重石となっています。



(全国、東北経済の基調判断) <要約>

	月例経済報告 (全国)	経済の動き (東北)
景気全体	このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している (2月21日)	一部に弱さがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している(△) (2月22日)
個人消費	緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響などが和らぐ中、持ち直しの動きが進捗している
設備投資	持ち直している	増加している
住宅投資	底堅い動きとなっている	弱い動きとなっている(△)
公共投資	底堅く推移している	国土強靱化関連工事や災害復旧工事から、下げ止まっている
生産	持ち直しの動きに足踏みがみられる	持ち直しの動きが足踏みしている(△)
雇用	持ち直している	改善している

注) 下線部は上方修正(△)または下方修正(▽)

(出所：内閣府、日銀仙台支店)

77B I

77B I（暫定値）は、  
反動がみられている。

1月の77B I（暫定値）は、前月比0.2ポイント低下の100.6となった。

採用指標別にみると、前月と比べ宮城県消費動向指数は上昇したが、建築物着工床面積、有効求人倍率は低下した。また、12月の鉱工業生産指数は前月比低下した。

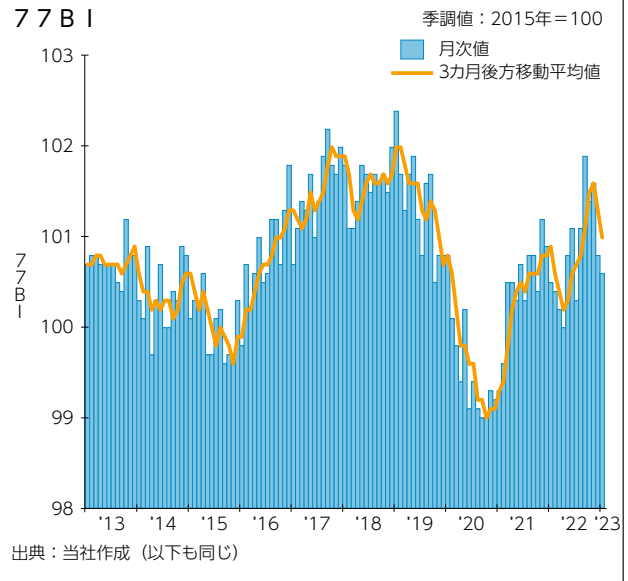
一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比0.3ポイント低下の101.0となった。

個別採用指標では鉱工業生産指数が前月（12月）と同値の暫定値となっていますが、足元では急速に低下しているため、確定値ではより低下幅が大きくなる可能性があります。雇用や消費にはなお底堅さがあるものの、全体として頭打ち感がうかがわれます。



※77B Iは、宮城県全体の景気動向を計量的に把握するため、鉱工業生産指数、宮城県消費動向指数（当社作成）、建築物着工床面積、有効求人倍率の4つの指標を合成し、当社が独自に作成した指標。当月の鉱工業生産指数は暫定的に前月と同値と仮定している。

77B I



77B I

(季節調整値、2015年=100)

	2022年11月	12月	2023年1月
B I 値	101.6	100.8	100.6
鉱工業生産指数	133.8	102.5	102.5
宮城県消費動向指数	104.1	103.6	105.4
建築物着工床面積	42.2	144.2	82.9
有効求人倍率	105.5	107.0	106.2

生産動向

鉱工業生産指数は、弱含みの動きとなっている。

12月の鉱工業生産指数は、前月比23.4%低下の102.5となった。業種別にみると、食品工業が前月比マイナスとなったことなどから、2カ月ぶりに前月を下回った。

一方、前年と比較すると、汎用・生産用・業務用機械工業が前年を下回ったことなどから、全体では前年比6.5%の低下となり、20カ月ぶりに前年を下回った。

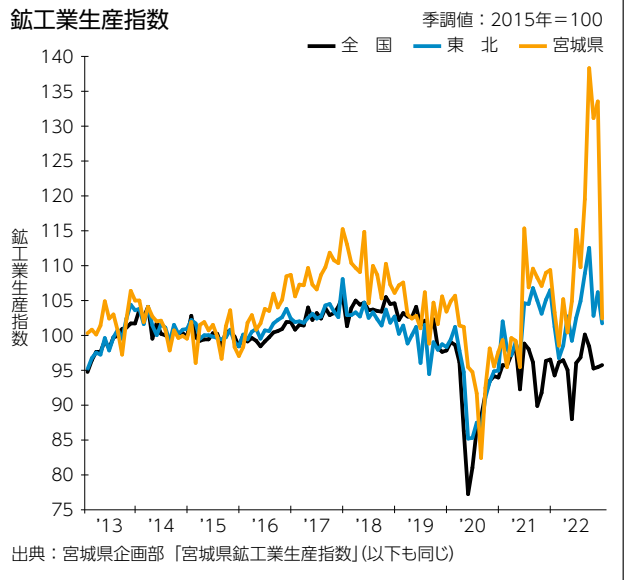
単月（前月比▲23.4%）では前月まで上振れしていた食品の反動減（寄与度▲22.1%）のほか汎用・生産用・業務用機械（同▲2.5%）、電子部品・デバイス（同▲0.4%）など主力業種が軒並み低下しました。四半期ではほぼ横ばいですが、一時的な押し上げを除くと実質的には減少しており、海外経済の減速などから調整色が強まっています。



鉱工業生産指数 (2015年=100、前年比：%)

	2022年10月	11月	12月
宮城県(季調済指数)	131.4	133.8	102.5
宮城県	22.4	23.0	▲ 6.5
東北	▲ 1.3	1.1	▲ 5.8
全国	3.0	▲ 0.9	▲ 2.4

鉱工業生産指数



鉱工業生産指数

(2015年=100、前年比：%)

	2022年10月	11月	12月
化学・石油・石炭製品工業	▲ 4.7	▲ 6.9	0.8
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 6.8	▲ 19.2	▲ 6.0
窯業・土石製品工業	▲ 5.9	2.9	▲ 12.4
電子部品・デバイス工業	▲ 8.8	▲ 2.7	▲ 8.5
汎用・生産用・業務用機械工業	▲ 19.2	▲ 16.1	▲ 29.1
輸送機械工業	86.2	51.8	45.1
食品工業	2.2倍	2.3倍	0.0

12月の主要業種別の生産動向をみると

基礎素材型業種では、**化学、石油・石炭製品工業**が、前月比では2カ月ぶり、前年比では4カ月ぶりにプラスとなった。

**パルプ・紙・紙加工品工業**が、前月比では段ボールシートの生産が増加したことなどから4カ月ぶりにプラスとなったが、前年比では7カ月連続してマイナスとなっている。

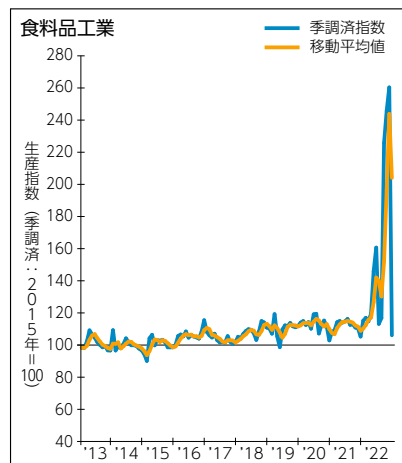
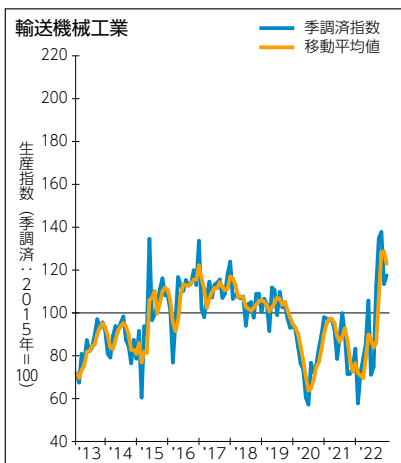
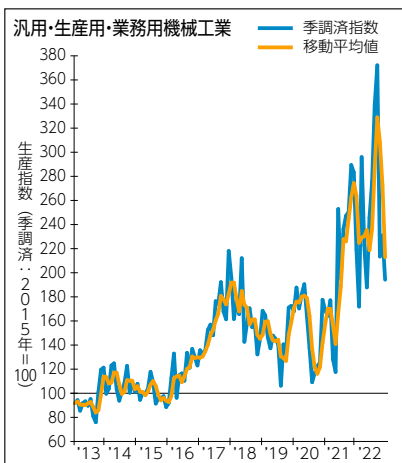
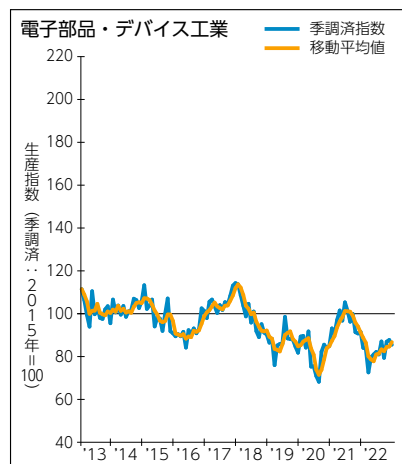
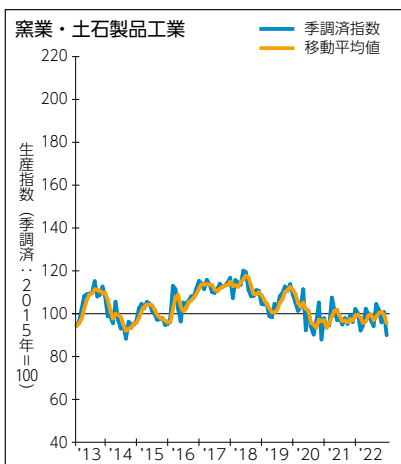
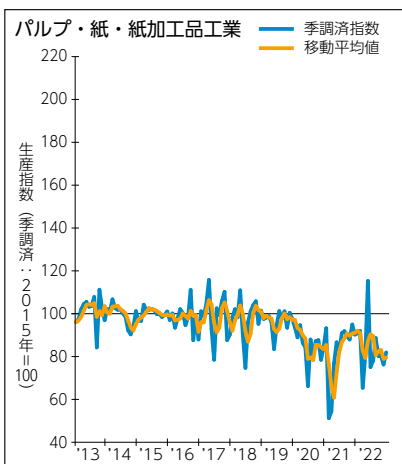
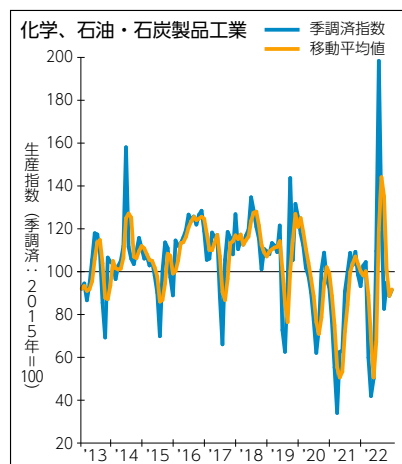
**窯業・土石製品工業**が、生コンの生産が減少したことなどから、前月比、前年比とも2カ月ぶりにマイナスとなった。

加工組立型業種では、**電子部品・デバイス工業**が、粉末や金製磁性材料の生産が減少したことなどから、前月比では3カ月ぶりにマイナスとなり、前年比では12カ月連続してマイナスとなっている。

**汎用・生産用・業務用機械工業**が、プラスチック用金型の生産が減少したことなどから、前月比では2カ月ぶりにマイナスとなり、前年比では3カ月連続してマイナスとなっている。

**輸送機械工業**が、前月比では2カ月ぶりにプラスとなり、前年比では5カ月連続してプラスとなっている。

生活関連型業種では、**食品工業**が、前月比では冷凍水産物の生産が減少したことなどから5カ月ぶりにマイナスとなり、前年比では横ばいとなった。



**建設動向**

公共工事請負金額は弱めの動きとなっている。住宅着工は持ち直しの動きが鈍化している。建築物着工はこのところ水準が低下している。

**公共工事**

1月の公共工事請負金額は、前年同月比28.7%増の177億円となり、4カ月ぶりに前年を上回った。  
発注者別にみると、国の機関では、同44.3%増の17億円と前年を上回った。

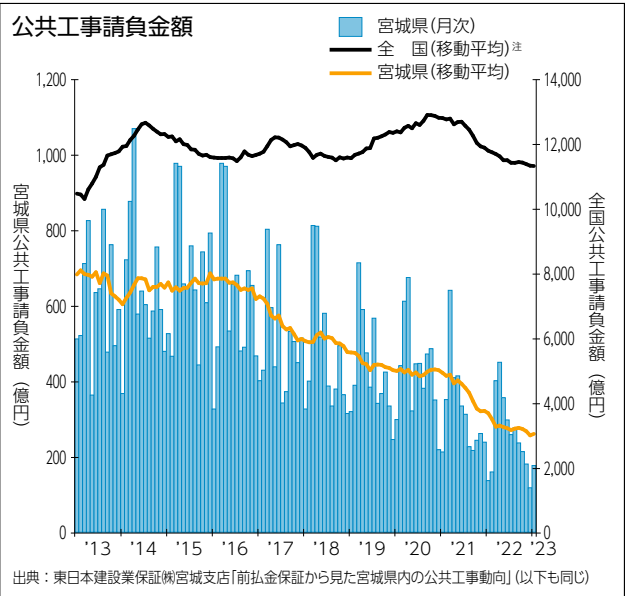
一方、地方の機関は、県が同25.6%増の68億円、市町村等は同28.5%増の91億円となり、全体で同27.2%増の159億円と前年を上回った。

また、震災前の2010年1月の請負金額（99億円）と比べた水準は77.9%増となっている。

当月は公立高校の改築工事（24億円）などにより前年を上回りましたが、復興・創生期間最終版だった前々年（2021年）同月との比較では17.2%減となっており、震災復興後の低下した水準は常態化しています。



公共工事請負金額



出典：東日本建設業保証(株)宮城支店「前払金保証から見た宮城県内の公共工事動向」(以下も同じ)

注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別) (前年比、%)

	2022年11月	12月	2023年1月
宮城県	▲ 31.2	▲ 50.9	28.7
国の機関	▲ 74.0	▲ 67.2	44.3
県	▲ 41.2	▲ 21.9	25.6
市町村等	▲ 12.5	▲ 60.9	28.5
全国	▲ 7.6	▲ 8.4	▲ 2.3

**住宅建設**

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比2.3%減の1,339戸（全国6.6%増、63,604戸）となり、3カ月連続して前年を下回っている。

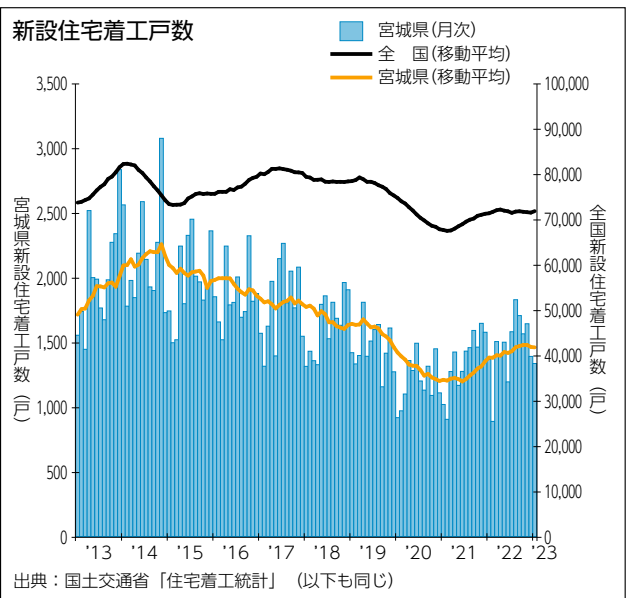
利用関係別にみると、分譲が同29.6%増（442戸）と前年を上回ったが、持家が同4.0%減（314戸）、貸家が同17.4%減（580戸）と前年を下回った。

また、震災前の2010年1月の着工戸数（1,136戸）と比べた水準は17.9%増となっている。

持家の減少幅が縮小、分譲では高層マンション（25階建て：180戸）が着工しており、貸家が7カ月ぶりに二桁減となるなど全体として頭打ち感がうかがわれるものの、戸数（1,339戸）は最近5年間の1月平均（1,210戸）を上回るなど、なお相応の水準にあります。



新設住宅着工戸数



出典：国土交通省「住宅着工統計」(以下も同じ)

新設住宅着工戸数(利用関係別) (前年比、%)

	2022年11月	12月	2023年1月
宮城県	▲ 0.2	▲ 11.8	▲ 2.3
持家	▲ 26.6	▲ 22.0	▲ 4.0
貸家	24.9	▲ 3.8	▲ 17.4
分譲	▲ 19.4	▲ 13.1	29.6
全国	▲ 1.4	▲ 1.7	6.6

新設住宅着工戸数(市部・郡部別) (前年比、%)

	2022年11月	12月	2023年1月
市部	▲ 0.1	▲ 13.6	4.8
うち仙台市	10.1	▲ 18.4	▲ 10.7
うち仙台市以外	▲ 18.5	0.3	63.0
郡部	▲ 0.6	2.9	▲ 43.1

**建築物着工**

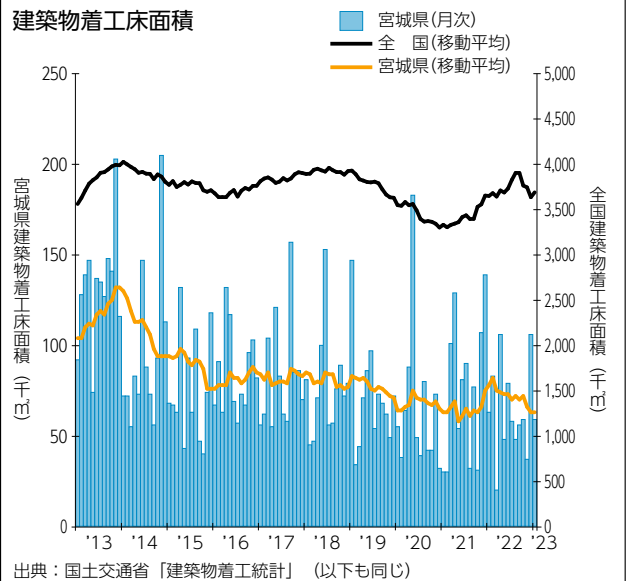
1月の**建築物着工**（民間非居住用）は、床面積が前年同月比6.6%減の59千㎡、工事費予定額は同59.1%増の155億円となり、床面積は3カ月連続して前年を下回っており、工事費予定額は3カ月ぶりに前年を上回った。

用途別に床面積をみると、倉庫（8千㎡：前年同月比81.0%減）、工場（4千㎡：同11.9%減）などが前年を下回った。

目立った大型物件のなかった当月は床面積が50千㎡台にとどまり、2022年（暦年）の月平均（63千㎡）を下回りました。資材価格の上昇や人手不足、先行きの金利環境などの逆風が強く、物流施設など一部を除き、建設投資は当面軟調に推移するとみられます。



建築物着工床面積



建築物着工床面積(用途別) (前年比、%)

	2022年11月	12月	2023年1月
宮城県	▲ 65.6	▲ 23.7	▲ 6.6
事務所	▲ 37.4	45.9	2.0倍
店舗	4.3倍	▲ 95.4	2.2倍
工場	1.8	9.3倍	▲ 11.9
倉庫	▲ 90.5	▲ 39.1	▲ 81.0
その他	▲ 32.0	2.1倍	3.0倍
全国	▲ 7.3	▲ 29.3	22.2

建築物着工工事費予定額(用途別) (前年比、%)

	2022年11月	12月	2023年1月
宮城県	▲ 51.6	▲ 31.4	59.1
事務所	▲ 53.0	2.1倍	3.0倍
店舗	5.3倍	▲ 97.2	2.1倍
工場	2.8	14.6倍	▲ 47.7
倉庫	▲ 86.2	▲ 60.1	▲ 77.4
その他	▲ 37.5	4.4倍	5.6倍
全国	19.7	▲ 18.0	36.5

**消費動向**

宮城県消費動向指数は持ち直しの動きがみられ、小売業主要業態販売は底堅さがうかがわれる。乗用車新車販売は下げ止まっている。

**消費動向指数**

1月の宮城県消費動向指数は、前月比1.8ポイント上昇の105.4となり、2カ月ぶりに上昇した。

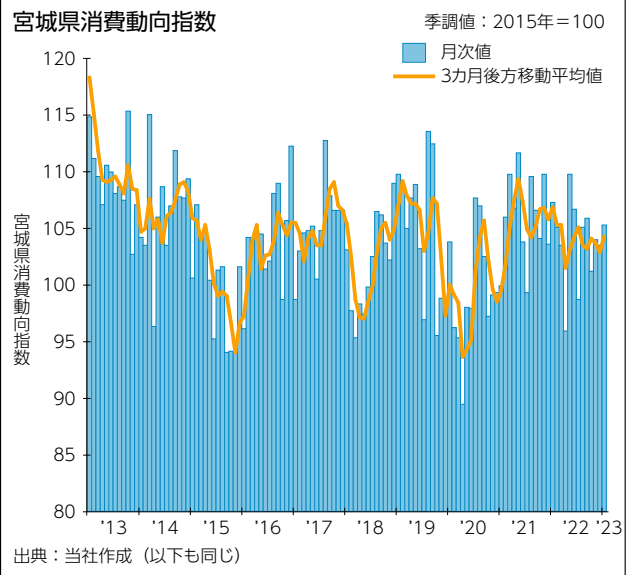
消費費目別にみると、「家具・家事用品」「食料」などが上昇した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比1.4ポイント上昇の104.4となった。

当月は前半には行動制限のない初売りがあり、後半には強い寒波で防寒用品や暖房需要が増加したほか、家電にも動きがみられました。しかし支出内容には生活防衛的な色合いもみられ、消費マインド改善を反映したとは言い難いものとなっています。



宮城県消費動向指数



宮城県消費動向指数 (季節調整値、2015年=100)

	2022年11月	12月	2023年1月
消費動向指数	104.1	103.6	105.4
家賃指数	108.1	108.4	108.6
乗用車販売指数	80.3	81.8	78.1
コア消費支出指数	112.4	108.2	118.0

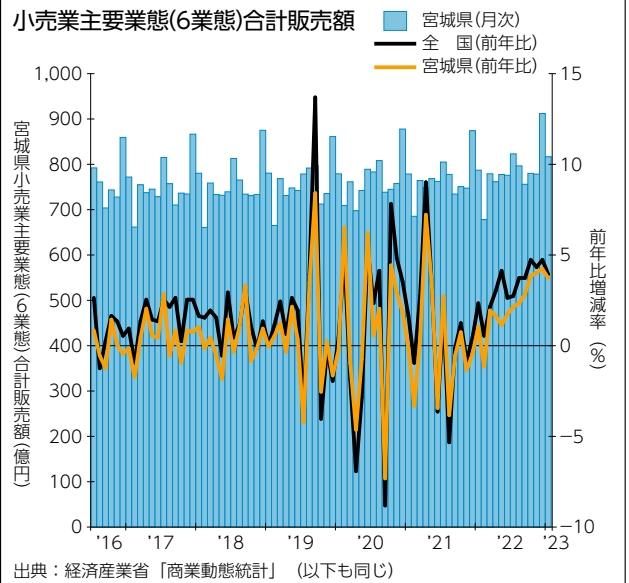
※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

小売業主要業態販売

1月の小売業主要業態(6業態)の合計販売額(全店ベース)は、前年同月比3.8%増の820億円(全国4.0%増、4兆802億円)となり、11カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同2.3%増の348億円(全国5.9%増)となり、前月に引続き前年を上回っている。コンビニエンスストアは同3.1%増の193億円(全国4.1%増)となり、11カ月連続して前年を上回っている。家電大型専門店は同5.9%増の87億円(全国1.2%減)となり、3カ月連続して前年を上回っている。ドラッグストアは同8.9%増の138億円(全国4.9%増)となり、22カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同0.4%減の54億円(全国1.7%減)となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

ホームセンターを除く5業態でプラスとなりましたが、1月以降のPOSデータ等でみると販売価格上昇を抑えたドラッグストアの販売数量が堅調な一方、価格上昇幅の大きなスーパーの数量落ち込みが拡大しており、家計の支出抑制姿勢の強まりがうかがえます。



小売業主要業態販売額 (前年比、%)

	2022年11月	12月	2023年1月
6業態合計(宮城県)	4.1	4.3	3.8
百貨店・スーパー	▲ 0.1	2.9	2.3
コンビニエンスストア	5.2	2.9	3.1
家電大型専門店	19.8	4.4	5.9
ドラッグストア	10.0	13.1	8.9
ホームセンター	▲ 1.7	1.1	▲ 0.4
6業態合計(全国)	4.4	4.8	4.0

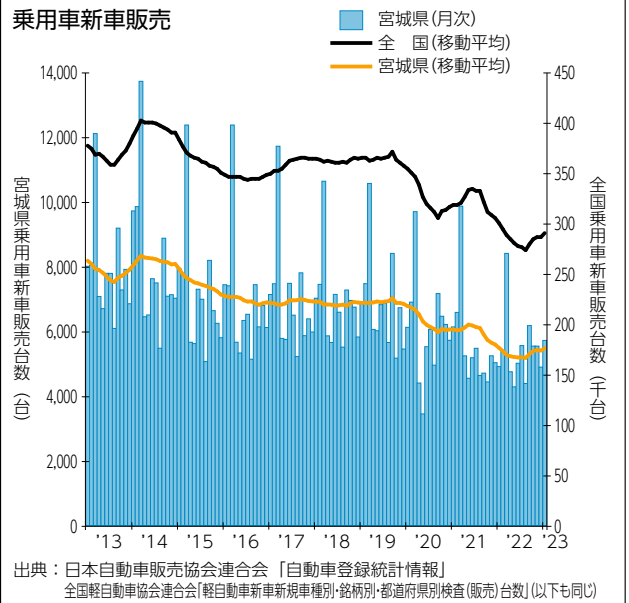
注) 全店ベース

乗用車新車販売

1月の乗用車新車販売台数は、前年同月比16.4%増(全国17.5%増)の5,731台となり、2カ月ぶりに前年を上回った。

車種別にみると、普通車は、同9.8%増(全国19.6%増)の1,976台となり、2カ月ぶりに前年を上回った。小型車は、同8.5%増(全国0.9%減)の1,586台となり、2カ月ぶりに前年を上回った。また、軽乗用車は、同30.7%増(全国29.9%増)の2,169台となり、8カ月連続して前年を上回っている。

挽回生産により供給の停滞は徐々に緩和されていますが、前年を除き1月としては過去最低だった2020年比でマイナス6.6%と水準は依然として低調です。需要の強い人気車ほど納期が長期化するジレンマもあり、当面は回復の足取りは重い状況が続きます。



乗用車新車販売台数 (前年比、%)

	2022年11月	12月	2023年1月
宮城県	5.7	▲ 2.7	16.4
普通車	2.7	▲ 6.1	9.8
小型車	1.2	▲ 16.4	8.5
軽乗用車	12.5	17.4	30.7
全国	5.7	1.5	17.5



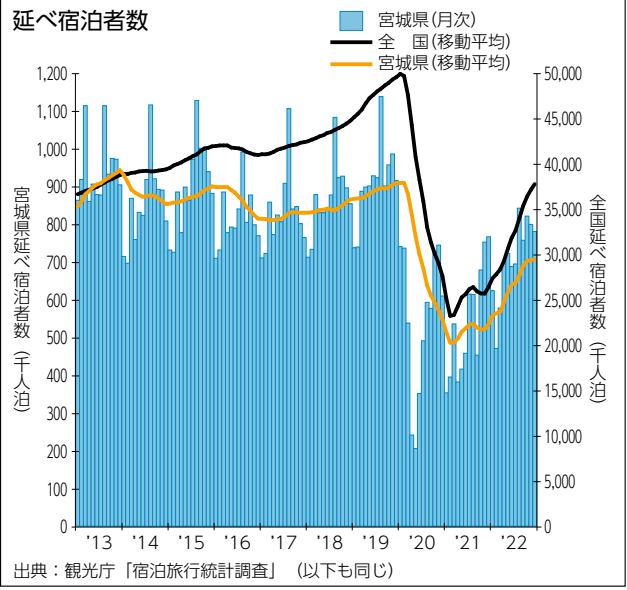
**観光動向**

12月の延べ宿泊者数は、前年同月比1.8%増の782千人泊となり、14カ月連続して前年を上回っている。  
 居住地別にみると、県内宿泊客は同12.8%減の281千人泊と3カ月連続して前年を下回っており、県外宿泊客は同12.1%増の483千人泊と9カ月連続して前年を上回っている。  
 また、外国人の延べ宿泊者数は、同3.3倍の15千人泊となり、4カ月連続して前年を上回っている。

全国旅行支援の効果は全国（前年比+19.7%）に比べ鈍く、県内客は前年の県民割の反動で前年比マイナス、県外客は前年比プラスですが、2019年同月比では8.8%減となっており、支援策をもってしてもコロナ前の水準回復には至っていません。



延べ宿泊者数



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」（以下も同じ）

延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

	2022年10月	11月	12月
宮城県	823	801	782
うち県内客	235	234	281
うち県外客	567	513	483
うち外国人	10	13	15
全国	44,271	46,093	46,904
うち外国人	2,118	3,824	5,981

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

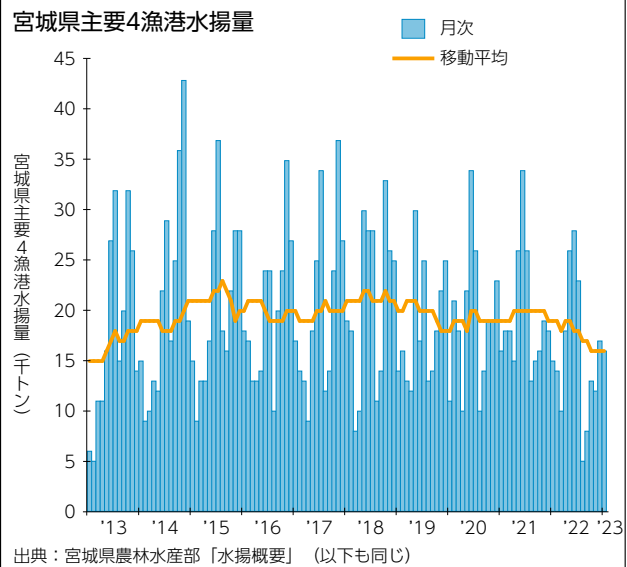
	2022年10月	11月	12月
宮城県	21.0	6.3	1.8
うち県内客	▲ 2.7	▲ 18.4	▲ 12.8
うち県外客	38.9	13.7	12.1
うち外国人	4.3倍	3.9倍	3.3倍
全国	38.0	24.8	19.7
うち外国人	6.8倍	11.4倍	18.1倍

**水産動向**

1月の主要4漁港（塩釜、石巻、気仙沼、女川）における水揚げは、数量が前年同月比3.9%増の16千トン、金額が同30.9%増の39億円となり、数量は8カ月ぶりに前年を上回り、金額は前月に引続き前年を上回っている。  
 魚種別にみると、数量、金額ともイワシ類などが増加した。

漁港別にみると、数量は塩釜、女川が前年を下回ったが、石巻、気仙沼が前年を上回った。金額は塩釜が前年を下回ったが、石巻、気仙沼、女川が前年を上回った。

宮城県主要4漁港水揚量



出典：宮城県農林水産部「水揚げ概要」（以下も同じ）

主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2022年11月	12月	2023年1月
合計	▲ 36.1	▲ 7.9	3.9
塩釜	▲ 35.4	0.9	▲ 69.1
石巻	▲ 37.9	22.2	10.3
気仙沼	▲ 28.0	▲ 14.9	30.7
女川	▲ 51.9	▲ 73.9	▲ 3.2

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

	2022年11月	12月	2023年1月
合計	▲ 23.5	6.3	30.9
塩釜	5.2	17.5	▲ 28.7
石巻	▲ 23.2	26.5	67.2
気仙沼	▲ 29.6	▲ 21.0	41.1
女川	▲ 39.2	▲ 43.9	43.0

貿易動向

1月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比19.4%増の266億円、輸入が同43.7%増の1,143億円となった。

輸出は電池が増加したことなどから23カ月連続して前年を上回っている。一方、輸入は液化天然ガスが増加したことなどから21カ月連続して前年を上回っている。

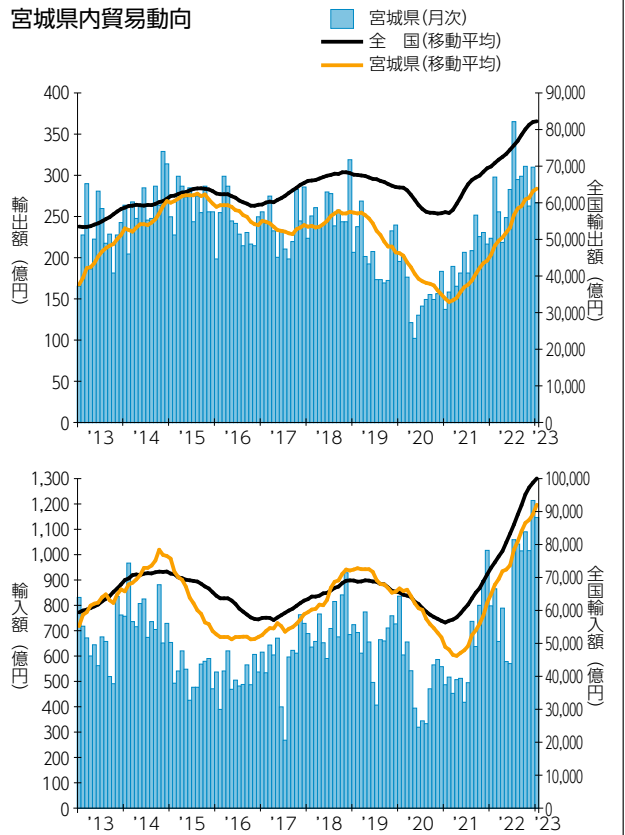
円安や化石燃料の国際価格はいくぶん落ち着きましたが、なお高値圏にあり、原油や液化天然ガスなどを中心に増加基調の輸入額は7カ月連続で1,000億円を超えており、電力料金への押し上げ圧力も強まっています。



輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2022年11月	12月	2023年1月
宮城県	輸出	13.7	42.7	19.4
	輸入	13.2	19.4	43.7
全国	輸出	20.0	11.5	3.5
	輸入	30.3	20.7	17.8

宮城県内貿易動向



出典：横浜税関「横浜税関管内貿易速報」（以下も同じ）

物価動向

1月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比4.9%上昇の105.7となり19カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」「光熱・水道」などが上昇した。

最近では歴史的な「上昇率」ばかりが目立っていますが、当月の指数（2020年=100）そのものをみると仙台市の「生鮮食品を除く総合」（105.7）は秋田市（106.1）に次いで全国2位、「生鮮食品及びエネルギーを除く総合」（103.6）では秋田市と並んで全国で最も高くなっています。食料が高いほか通信や教養娯楽などでも全国で最も高い水準にあり、上昇の裾野が広がっています。



消費者物価指数(費目別) (前年比、%)

		2022年11月	12月	2023年1月
生鮮食品を除く食料		7.7	8.5	8.4
住居		2.3	2.5	2.6
光熱・水道		11.3	14.1	13.0
家具・家事用品		6.6	6.0	8.5
被服および履物		5.4	3.9	4.6
保健医療	▲	0.4	0.0	▲ 0.1
交通・通信		0.8	1.2	1.5
教育	▲	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1
教養娯楽		0.3	0.4	2.3
諸雑費		1.1	1.9	1.4

仙台市消費者物価指数



注) 生鮮食品除く総合  
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」（以下も同じ）

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

		2022年11月	12月	2023年1月
仙台市		4.1	4.7	4.9
全国		3.7	4.0	4.2

## 雇用動向

雇用情勢はバラツキがあるものの、全体としては持ち直している。

1月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求職者数が増加したことなどから、前月比0.01ポイント低下の1.42倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて卸売業・小売業などが減少した。

有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、大和（1.78倍）、仙台（1.77倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.87倍）、塩釜（0.89倍）などは1倍を下回っている。

有効求人倍率の低下は9カ月ぶり、有効求人数は緩やかに持ち直しているものの伸びが鈍化しています。特に製造業は海外経済の減速などから工場の稼働が低下傾向にあり、新規求人数が2カ月連続して前年を割るなど順調な回復が頭打ちの状況です。

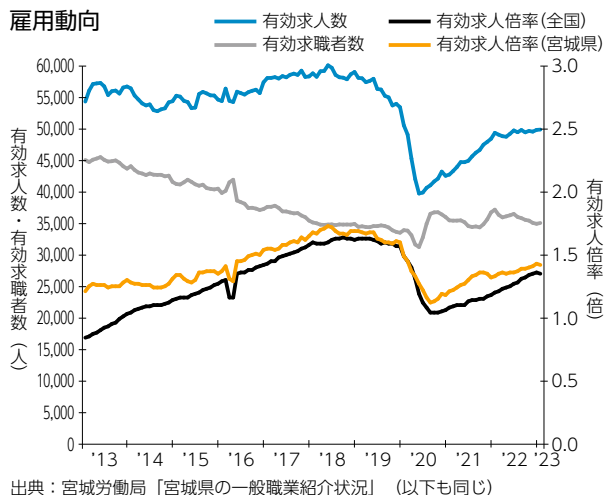


### 有効求人倍率等 (倍、%)

	2022年11月	12月	2023年1月
有効求人倍率(宮城県)	1.41	1.43	1.42
(全国)	1.35	1.36	1.35
新規求人数(前年比)(宮城県)	10.3	▲ 0.1	▲ 3.7

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

## 雇用動向



### 職業安定所別有効求人倍率

(原数値、倍)

	2022年11月	12月	2023年1月
気仙沼	1.61	1.66	1.41
石巻	1.68	1.70	1.63
塩釜	0.85	0.88	0.89
仙台	1.62	1.76	1.77
大和	1.73	1.74	1.78
古川	1.20	1.21	1.30
築館	1.63	1.70	1.72
迫	0.98	1.01	0.92
大河原	0.81	0.86	0.87
白石	1.20	1.10	1.36

## 倒産動向

1月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比横ばいの11件、負債額では同14.8%減の12億円となった。

倒産企業を業種別にみると、建設業、小売業、サービス業他が各3件などとなっている。

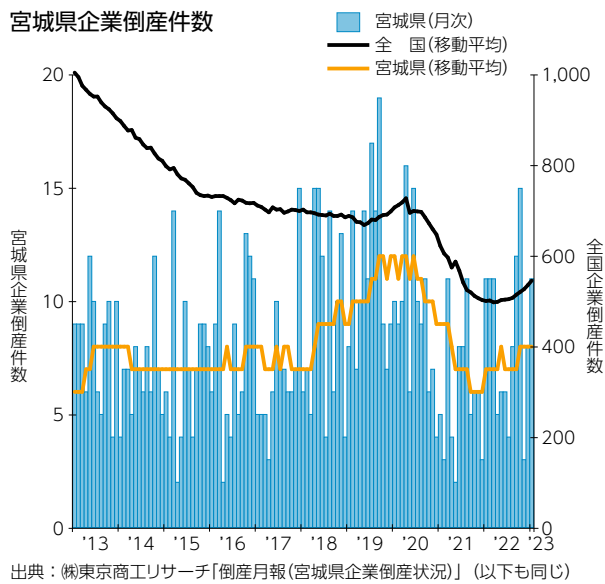
主因別では、販売不振が8件などとなっている。

地域別では、仙台市が5件、名取市が2件などとなっている。

件数・負債額ともになお水準は低くなっていますが、原材料価格高騰や人手不足など供給サイドの要因による倒産増加の兆しがみられ、特に需要サイドの要因が加わる建設業が目立っています。



## 宮城県企業倒産件数



### 企業倒産件数・負債額 (件、百万円)

	2022年11月	12月	2023年1月	
宮城県	件数	3	8	11
	負債額	7,789	444	1,188
全国	件数	581	606	570
	負債額	115,589	79,172	56,524

### 企業倒産件数・負債額 (前年比、%)

	2022年11月	12月	2023年1月	
宮城県	件数	▲ 50.0	2.7倍	0.0
	負債額	17.4倍	2.2倍	▲ 14.8
全国	件数	13.9	20.2	26.1
	負債額	22.8	▲ 15.0	▲ 15.6

人口動向

2月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比11,412人減の227万3,414人となり、22カ月連続して前年を下回っている。

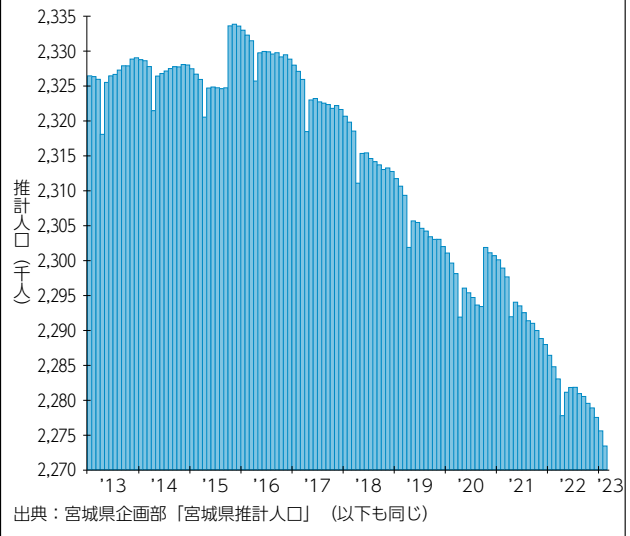
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万5,723人減、社会増減は4,311人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、仙台市（1,934人増）、名取市（197人増）など3市、減少したのは石巻市（1,947人減）、大崎市（1,485人減）など32市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では7万3,439人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（5万1,419人増）、名取市（5,200人増）など7市町村では増加したが、石巻市（2万4,856人減）、気仙沼市（1万4,817人減）など28市町では減少している。

宮城県人口動向



宮城県人口

	2022年12月	2023年1月	2月
総人口	2,277,527	2,275,594	2,273,414
自然増減	▲ 1,545	▲ 1,792	▲ 2,145
社会増減	173	▲ 141	▲ 35

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向(推計人口)

	2011年3月	2022年2月	2023年2月	前年比	震災前比		2011年3月	2022年2月	2023年2月	前年比	震災前比
	①	②	③	③-②	③-①		①	②	③	③-②	③-①
宮城県	2,346,853	2,284,826	2,273,414	▲ 11,412	▲ 73,439	村田町	11,939	10,427	10,252	▲ 175	▲ 1,687
仙台市	1,046,737	1,096,222	1,098,156	1,934	51,419	柴田町	39,243	37,902	37,584	▲ 318	▲ 1,659
石巻市	160,394	137,485	135,538	▲ 1,947	▲ 24,856	川崎町	9,919	8,141	8,012	▲ 129	▲ 1,907
塩釜市	56,221	51,578	51,000	▲ 578	▲ 5,221	丸森町	15,362	11,763	11,402	▲ 361	▲ 3,960
気仙沼市	73,154	59,564	58,337	▲ 1,227	▲ 14,817	亘理町	34,795	33,030	32,840	▲ 190	▲ 1,955
白石市	37,273	32,032	31,429	▲ 603	▲ 5,844	山元町	16,608	11,899	11,674	▲ 225	▲ 4,934
名取市	73,603	78,606	78,803	197	5,200	松島町	15,014	13,085	12,896	▲ 189	▲ 2,118
角田市	31,188	27,357	26,894	▲ 463	▲ 4,294	七ヶ浜町	20,353	17,849	17,618	▲ 231	▲ 2,735
多賀城市	62,990	62,584	62,653	69	▲ 337	利府町	34,279	35,249	35,139	▲ 110	860
岩沼市	44,160	43,963	43,687	▲ 276	▲ 473	大和町	25,366	28,647	28,642	▲ 5	3,276
登米市	83,691	74,530	73,157	▲ 1,373	▲ 10,534	大郷町	8,871	7,677	7,587	▲ 90	▲ 1,284
栗原市	74,474	63,010	61,650	▲ 1,360	▲ 12,824	大衡村	5,361	5,703	5,586	▲ 117	225
東松島市	42,840	38,749	38,382	▲ 367	▲ 4,458	色麻町	7,406	6,523	6,403	▲ 120	▲ 1,003
大崎市	134,950	125,570	124,085	▲ 1,485	▲ 10,865	加美町	25,421	21,350	21,018	▲ 332	▲ 4,403
富谷市	47,501	51,649	51,566	▲ 83	4,065	涌谷町	17,399	14,918	14,666	▲ 252	▲ 2,733
蔵王町	12,847	11,164	10,949	▲ 215	▲ 1,898	美里町	25,055	23,589	23,235	▲ 354	▲ 1,820
七ヶ宿町	1,664	1,219	1,199	▲ 20	▲ 465	女川町	9,932	6,248	6,131	▲ 117	▲ 3,801
大河原町	23,465	23,615	23,547	▲ 68	82	南三陸町	17,378	11,929	11,697	▲ 232	▲ 5,681

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）  
 自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数

データで見る宮城県

震災前後の経済指標

東日本大震災から12年が経過しました。

宮城県、とりわけ被災地（沿岸部）の復旧・復興状況を数字で振り返りましょう。

○ 宮城県の震災前後の経済指標

	人口（人）		世帯数（世帯）		高齢化率（%）	
	県全体	うち沿岸部	県全体	うち沿岸部	県全体	うち沿岸部
震災前① (対象時期)	2,348,165	391,748	901,862	134,294	22.2	27.4
	2010年10月					
震災後② (対象時期)	2,301,996	335,639	982,523	131,413	28.1	34.4
	2020年10月					
増減(②-①)	-46,169	-56,109	80,661	-2,881	6.0	7.0
出所	総務省「国勢調査」					

	市町村内総生産(億円)		市町村民所得(億円)		一人当たり所得(万円)	
	県全体	うち沿岸部	県全体	うち沿岸部	県全体	うち沿岸部
震災前① (対象時期)	78,800	11,204	56,075	7,960	239	203
	2010年度(注. 2011年基準)					
震災後② (対象時期)	98,294	12,696	67,921	8,733	294	261
	2020年度(注.2015年基準)					
増減(②-①)	19,493	1,492	11,846	773	56	58
出所	宮城県「市町村民経済計算」					

	事業所数(事業所)		従業者数(人)		製造品出荷額等(億円)	
	県全体	うち沿岸部	県全体	うち沿岸部	県全体	うち沿岸部
震災前① (対象時期)	110,209	19,938	1,120,793	154,622	35,689	7,213
	2009年7月				2010年	
震災後② (対象時期)	93,911	13,488	1,022,384	121,043	43,580	5,662
	2021年6月				2020年	
増減(②-①)	-16,298	-6,450	-98,409	-33,579	7,891	-1,551
出所	総務省「経済センサス」「事業所統計」				経済産業省「工業統計」他	

	雇用保険被保険者数(人)		観光入込客数(万人)		水揚高(t)	貿易額(億円)
	県全体	石巻・気仙沼所計	県全体	うち沿岸部	県全体	仙台塩釜港
震災前① (対象時期)	642,504	59,900	6,129	1,501	312,526	7,729
	2011年2月		2010年		2010年	2010年
震災後② (対象時期)	729,748	61,897	4,495	1,232	188,324	12,938
	2023年1月		2021年		2022年	2022年
増減(②-①)	87,244	1,997	-1,634	-269	-124,202	5,209
出所	宮城労働局「一般職業紹介状況」		宮城県「観光統計概要」		宮城県「水揚概要」	財務省「貿易統計」

注. 沿岸部：石巻市、気仙沼市、東松島市、巨理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、女川町、南三陸町の3市6町計  
雇用保険被保険者数は石巻・気仙沼の2安定所計



	公共工事請負金額 (億円)						建築物着工床面積 (千㎡)				建築物着工工事費予定額 (億円)			
	宮城県	東北	全国	前年比 (%)			宮城県	全国	前年比 (%)		宮城県	全国	前年比 (%)	
				宮城県	東北	全国			宮城県	全国			宮城県	全国
2021年	3,869	17,186	142,867	-25.0	-25.7	-7.2	901	43,874	15.0	10.7	1,797	97,489	-5.6	12.5
2022年	3,090	14,170	136,174	-20.2	-17.5	-4.7	762	43,652	-15.4	-0.5	1,735	101,656	-3.4	4.3
2019年度	5,090	20,524	150,254	-9.3	-3.1	6.8	789	43,019	-19.3	-6.6	1,817	94,844	-2.2	-1.4
2020年度	5,011	23,215	153,658	-1.5	13.1	2.3	788	39,980	-0.1	-7.1	1,799	87,273	-1.0	-8.0
2021年度	3,361	14,958	140,503	-32.9	-35.6	-8.6	905	43,738	14.9	9.4	1,829	95,879	1.7	9.9
'21年10~12月	746	2,671	25,160	-29.5	-46.6	-15.0	277	12,777	88.5	32.0	566	28,584	86.9	34.7
'22年1~3月	699	2,130	25,605	-42.1	-51.1	-8.5	166	9,703	3.0	-1.4	322	20,505	11.1	-7.3
4~6月	1,106	5,591	49,296	-4.7	-8.0	-4.4	233	12,749	-11.8	9.1	597	28,943	22.9	11.0
7~9月	773	4,130	37,471	2.2	1.3	-1.8	162	11,642	-18.6	21.6	388	27,952	-14.9	34.9
10~12月	512	2,318	23,802	-31.3	-13.2	-5.4	202	9,559	-27.3	-25.2	429	24,256	-24.2	-15.1
2022年1月	137	361	5,209	-35.7	-65.7	-17.7	63	2,937	107.2	-1.7	97	6,381	76.3	-9.8
2月	160	446	5,897	-54.6	-56.6	-9.1	83	3,459	175.5	12.3	180	7,293	209.0	-6.6
3月	402	1,324	14,499	-37.5	-42.0	-4.3	20	3,306	-79.8	-12.3	45	6,830	-74.8	-5.5
4月	451	2,492	20,105	10.0	4.0	-4.0	106	4,503	-17.7	22.3	286	10,063	35.5	33.4
5月	357	1,317	12,672	-14.0	-24.0	-10.3	48	3,707	-11.4	-7.0	91	9,030	-12.6	-12.2
6月	298	1,782	16,519	-11.1	-8.7	0.1	79	4,539	-2.7	13.1	219	9,850	29.1	19.4
7月	259	1,404	12,924	-17.4	-6.7	-7.0	58	4,639	-35.3	32.6	109	11,114	-28.1	52.2
8月	277	1,349	11,562	22.1	9.5	-0.1	48	3,708	50.6	33.8	136	8,635	126.1	27.1
9月	237	1,378	12,985	9.6	2.9	2.4	56	3,295	-27.8	-0.3	143	8,203	-41.5	24.0
10月	214	1,143	10,558	-12.2	8.3	-1.9	59	3,238	88.6	-33.9	107	8,441	129.4	-31.6
11月	181	641	6,961	-31.2	-31.7	-7.6	37	3,163	-65.6	-7.3	82	7,905	-51.6	19.7
12月	118	534	6,283	-50.9	-21.1	-8.4	106	3,158	-23.7	-29.3	240	7,911	-31.4	-18.0
2023年1月	177	519	5,088	28.7	43.8	-2.3	59	3,590	-6.6	22.2	155	8,711	59.1	36.5
資料出所	東日本建設業保証(宮城支店) 北海道、東日本、西日本の三保証株式会社						国土交通省							

注) ①公共工事請負金額の暦年・四半期の数値は当社集計。  
 ②建築物着工床面積および建築物着工工事費予定額は民間非住宅の数値で、当社集計。

	消費活動指数	宮城県消費動向指数	百貨店・スーパー (販売額: 右同)		コンビニエンスストア		家電大型専門店		ドラッグストア		ホームセンター			
			宮城県 (億円)	全国 (億円)	前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)	
					宮城県	全国	宮城県	全国	宮城県	全国	宮城県	全国	宮城県	全国
2021年	106.0	3,980	199,071	-1.4	0.9	0.6	1.3	-0.3	-2.3	3.4	0.3	-0.4	-3.0	
2022年	104.0	4,012	206,607	0.8	3.8	2.7	3.8	1.5	0.5	7.9	5.5	-1.6	-1.4	
2019年度	102.6	4,053	193,457	-1.5	-1.6	-0.1	1.0	2.3	2.2	10.2	7.1	-0.6	0.7	
2020年度	101.3	3,997	196,297	-2.6	-5.1	-4.4	-5.0	5.0	8.4	6.8	3.2	8.2	6.7	
2021年度	106.0	3,973	199,978	-0.6	1.9	1.1	2.4	-1.0	-4.7	5.1	2.2	-2.9	-4.3	
'21年10~12月	97.1	1,068	54,988	-1.5	1.6	0.2	0.9	-4.7	-6.2	5.2	2.2	-1.4	-2.9	
'22年1~3月	94.5	962	48,856	-0.7	1.9	0.3	1.8	2.1	0.1	6.9	4.9	-4.3	-2.9	
4~6月	96.9	971	49,786	0.2	5.1	2.9	3.5	-0.2	0.5	5.8	2.7	-2.3	-2.1	
7~9月	96.4	991	50,784	1.8	4.1	3.0	3.7	-2.5	0.2	7.9	5.9	-1.4	-2.1	
10~12月	96.8	1,087	57,182	1.7	4.0	4.4	6.0	6.7	1.1	10.9	8.4	1.2	1.2	
2022年1月	94.9	340	16,767	-0.6	3.0	1.1	2.9	3.6	-1.7	6.3	5.7	-3.5	-2.6	
2月	92.9	293	15,036	-2.1	0.5	-1.4	0.6	-7.1	-0.8	9.2	4.5	-10.1	-4.1	
3月	95.8	330	17,053	0.6	2.1	1.0	1.7	7.7	2.6	5.4	4.6	-0.4	-2.2	
4月	96.3	319	16,242	0.2	4.6	3.0	2.7	-1.2	1.4	6.1	3.1	-0.2	-1.5	
5月	97.0	326	16,809	0.5	9.1	2.7	3.5	-3.5	-3.3	6.7	1.7	-5.1	-3.9	
6月	97.2	327	16,735	-0.003	1.9	3.0	4.2	4.2	3.5	4.8	3.4	-1.1	-0.7	
7月	96.5	346	17,704	1.7	3.3	3.3	3.4	-6.1	-3.3	8.5	6.8	-1.6	-2.2	
8月	95.3	331	16,776	1.4	4.3	4.0	5.2	-6.3	-1.7	8.0	5.3	-1.2	-1.1	
9月	97.5	314	16,304	2.3	4.8	1.5	2.3	6.6	6.4	7.1	5.6	-1.4	-3.2	
10月	98.3	334	17,326	2.1	4.9	5.4	6.5	-3.2	0.1	9.4	6.1	4.0	1.7	
11月	96.5	333	17,590	-0.1	3.0	5.2	7.9	19.8	0.3	10.0	7.9	-1.7	-1.3	
12月	95.5	420	22,266	2.9	4.1	2.9	3.9	4.4	2.5	13.1	11.1	1.1	2.9	
2023年1月	96.7	348	17,753	2.3	5.9	3.1	4.1	5.9	-1.2	8.9	4.9	-0.4	-1.7	
資料出所	日本銀行 当社		経済産業省											

注) ①消費活動指数、宮城県消費動向指数は2015年を100とした季節調整値。  
 ②百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターの前年比は全店ベース。

	乗用車新車販売台数						延べ宿泊者数 (千人泊)				外国人延べ宿泊者数 (千人泊)			
	宮城県 (台)	東北 (台)	全国 (千台)	前年比 (%)			宮城県	全国	前年比 (%)		宮城県	全国	前年比 (%)	
				宮城県	東北	全国			宮城県	全国			宮城県	全国
2021年	67,239	262,570	3,670	-7.7	-6.6	-3.5	6,435	317,774	-2.1	-4.2	49	4,317	-62.3	-78.8
2022年	65,013	249,896	3,443	-3.3	-4.8	-6.2	8,493	453,973	32.0	42.9	67	16,760	36.1	288.2
2019年度	80,083	308,970	4,167	-3.1	-4.5	-4.4	10,584	572,180	1.3	3.5	557	105,351	26.8	4.5
2020年度	72,701	282,620	3,852	-9.2	-8.5	-7.6	5,839	280,391	-44.8	-51.0	36	3,589	-93.5	-96.6
2021年度	63,364	246,892	3,462	-12.8	-12.6	-10.1	6,823	340,576	16.9	21.5	42	4,134	16.0	15.2
'21年10~12月	14,745	56,881	801	-20.0	-19.1	-19.1	2,202	108,199	5.5	6.1	10	976	-21.5	-26.2
'22年1~3月	18,760	71,042	987	-17.1	-18.1	-17.4	1,677	85,169	30.2	36.6	4	756	-62.9	-19.5
4~6月	14,079	54,138	723	-6.2	-10.3	-14.5	2,111	104,846	67.6	66.5	12	1,842	16.7	158.4
7~9月	16,159	62,150	846	8.8	6.1	2.1	2,300	126,690	36.5	50.4	13	2,240	-26.8	32.5
10~12月	16,015	62,566	887	8.6	10.0	10.8	2,406	137,268	9.2	26.9	38	11,923	276.0	1,121.9
2022年1月	4,922	18,191	272	-20.0	-17.4	-16.0	625	28,436	76.3	63.4	1	220	-77.1	-52.5
2月	5,413	20,039	289	-18.0	-19.2	-19.9	472	23,277	19.3	30.6	1	205	-41.1	-1.6
3月	8,425	32,812	426	-14.8	-17.8	-16.4	579	33,456	7.8	23.3	2	331	-51.1	23.4
4月	4,761	18,510	244	-9.4	-12.2	-15.3	698	33,633	82.0	50.7	4	531	56.8	132.6
5月	4,294	16,158	211	-5.8	-14.0	-19.1	724	36,740	73.7	77.3	5	674	24.3	182.2
6月	5,024	19,470	268	-3.3	-5.1	-9.7	689	34,472	50.0	73.2	3	636	-21.8	159.2
7月	5,571	21,738	288	1.5	-0.2	-6.9	696	39,824	13.1	31.9	3	696	-71.0	-11.3
8月	4,398	16,776	234	-5.4	-9.0	-11.2	844	47,450	37.3	51.6	6	728	-1.0	18.9
9月	6,190	23,636	325	31.2	28.7	26.6	759	39,416	67.1	73.1	4	816	102.4	179.0
10月	5,556	21,697	295	24.9	28.2	28.5	823	44,271	21.0	38.0	10	2,118	331.6	579.8
11月	5,555	22,169	308	5.7	5.1	5.7	801	46,093	6.3	24.8	13	3,824	294.8	1,044.8
12月	4,904	18,700	284	-2.7	-0.9	1.5	782	46,904	1.8	19.7	15	5,981	233.2	1,711.9
2023年1月	5,731	21,735	320	16.4	19.5	17.5								
資料出所	日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会						観光庁							

注) ①乗用車新車販売台数は普通乗用車、小型乗用車および軽乗用車の合計値。  
 ②延べ宿泊者数は全宿泊施設の数値。

	完全失業者		新規求人倍率			有効求人倍率			企業物価指数		消費者物価指数 (2020年=100)			
	失業者数 (万人)	失業率 (%)	宮城県 (倍)	東北 (倍)	全国 (倍)	宮城県 (倍)	東北 (倍)	全国 (倍)	2020年 = 100	前年比 (%)	前年比 (%)			
											仙台市	全国	前年比 (%)	仙台市
2021年	195	2.8	2.11	1.99	2.03	1.30	1.26	1.13	104.6	4.6	100.0	99.8	0.0	-0.2
2022年	179	2.6	2.23	2.14	2.28	1.38	1.38	1.28	114.7	9.7	103.0	102.1	3.0	2.3
2019年度	163	2.4	2.25	1.97	2.35	1.58	1.42	1.56	101.3	0.1	100.2	100.3	0.6	0.6
2020年度	200	2.9	1.93	1.78	1.90	1.20	1.13	1.10	99.9	-1.5	99.8	99.9	-0.3	-0.4
2021年度	191	2.8	2.17	2.05	2.09	1.33	1.31	1.16	107.0	7.1	100.4	99.9	0.5	0.1
'21年10~12月	188	2.7	2.19	2.06	2.09	1.34	1.32	1.17	108.2	8.6	100.5	100.0	0.9	0.4
'22年1~3月	185	2.7	2.24	2.11	2.20	1.35	1.36	1.21	110.4	9.3	101.2	100.5	1.4	0.6
4~6月	179	2.6	2.21	2.10	2.23	1.36	1.36	1.25	113.6	9.7	102.3	101.6	2.6	2.1
7~9月	178	2.6	2.22	2.15	2.31	1.38	1.39	1.30	115.9	9.6	103.5	102.5	3.5	2.7
10~12月	174	2.5	2.27	2.19	2.37	1.41	1.42	1.35	119.0	10.0	104.9	103.8	4.3	3.8
2022年1月	189	2.7	2.28	2.15	2.18	1.33	1.35	1.20	109.4	9.1	100.7	100.1	0.9	0.2
2月	186	2.7	2.27	2.11	2.24	1.35	1.36	1.21	110.3	9.4	101.2	100.5	1.5	0.6
3月	181	2.6	2.16	2.07	2.19	1.36	1.36	1.23	111.4	9.4	101.8	100.9	1.7	0.8
4月	178	2.6	2.16	2.07	2.20	1.35	1.36	1.24	113.2	9.9	102.0	101.4	2.5	2.1
5月	180	2.6	2.25	2.10	2.24	1.36	1.36	1.25	113.3	9.4	102.3	101.6	2.6	2.1
6月	180	2.6	2.22	2.13	2.24	1.36	1.36	1.27	114.3	9.6	102.7	101.7	3.0	2.2
7月	177	2.6	2.17	2.14	2.32	1.37	1.38	1.28	115.2	9.3	103.2	102.2	3.2	2.4
8月	176	2.5	2.30	2.17	2.30	1.39	1.40	1.31	115.7	9.6	103.3	102.5	3.4	2.8
9月	182	2.6	2.18	2.15	2.30	1.39	1.40	1.32	116.9	10.3	104.0	102.9	3.8	3.0
10月	178	2.6	2.18	2.15	2.33	1.40	1.41	1.34	118.1	9.7	104.5	103.4	4.3	3.6
11月	173	2.5	2.30	2.20	2.38	1.41	1.42	1.35	119.0	9.8	104.8	103.8	4.1	3.7
12月	171	2.5	2.33	2.22	2.38	1.43	1.43	1.36	119.8	10.5	105.3	104.1	4.7	4.0
2023年1月	167	2.4	2.21	2.07	2.38	1.42	1.42	1.35	119.8	9.5	105.7	104.3	4.9	4.2
資料出所	総務省		厚生労働省					日本銀行		総務省・宮城県				

注) ①完全失業者、企業物価指数は全国の数値。 ②消費者物価指数は生鮮食品を除く総合指数。  
 ③仙台市消費者物価指数の四半期の数値は当社集計。



	宮城県主要4漁港水揚								宮城県貿易			
	水揚数量 (千トン)	数 量					金 額		輸 出		輸 入	
		前 年 比 (%)					水揚金額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)
		塩 釜	石 巻	気仙沼	女 川							
2021年	234	2.0	-4.5	-2.9	6.1	8.7	492	3.2	2,347	26.3	7,467	20.7
2022年	188	-19.4	-30.2	5.1	-38.9	-36.6	495	0.6	3,359	43.1	10,669	42.9
2019年度	227	-8.5	6.2	0.4	-19.6	-14.3	473	-15.3	2,332	-23.4	7,931	-8.5
2020年度	231	1.8	-25.0	-1.3	4.6	17.3	474	0.1	1,770	-24.1	5,562	-29.9
2021年度	221	-4.1	-15.9	-6.5	10.1	-16.5	489	3.3	2,638	49.0	8,319	49.6
'21年10~12月	52	-14.1	-19.9	-12.1	-9.6	-25.3	134	-11.5	671	37.6	2,707	58.6
'22年1~3月	39	-24.3	-46.7	-13.5	6.9	-48.3	67	-3.6	775	60.1	2,314	59.2
4~6月	72	-4.4	-25.8	33.7	-37.4	-36.3	157	11.3	748	35.3	1,933	34.9
7~9月	36	-33.8	-20.4	-11.9	-55.9	60.0	144	-2.4	955	49.4	3,107	66.6
10~12月	41	-21.2	-24.4	-5.2	-27.1	-57.1	127	-5.1	881	31.2	3,311	22.3
2022年1月	15	-7.2	-2.9	-7.5	-2.7	-11.4	30	22.0	223	62.1	796	63.8
2月	14	-18.0	-77.7	1.3	-20.5	-42.5	17	-21.8	297	88.3	863	67.2
3月	10	-45.4	-65.8	-40.5	67.2	-67.7	20	-13.3	255	34.9	656	45.1
4月	18	16.8	-26.4	63.0	82.9	-42.5	28	11.4	218	31.8	787	55.6
5月	26	1.7	-22.5	43.8	-25.9	-41.4	46	10.8	248	36.9	577	12.9
6月	28	-18.4	-28.7	11.8	-51.4	-23.1	82	11.6	282	36.7	569	36.7
7月	23	-12.0	31.5	13.6	-43.7	58.4	78	20.2	364	101.4	1,056	113.7
8月	5	-60.2	-24.2	-57.9	-67.8	155.2	29	-16.8	294	41.5	1,039	41.4
9月	8	-49.3	-47.5	-28.8	-63.5	27.0	37	-22.8	298	18.6	1,012	59.1
10月	13	-18.8	-50.1	8.6	-33.2	-28.2	44	7.2	310	38.1	1,087	36.3
11月	12	-36.1	-35.4	-37.9	-28.0	-51.9	40	-23.5	262	13.7	1,013	13.2
12月	17	-7.9	0.9	22.2	-14.9	-73.9	43	6.3	309	42.7	1,210	19.4
2023年1月	16	3.9	-69.1	10.3	30.7	-3.2	39	30.9	266	19.4	1,143	43.7
資料出所	宮 城 県							横 浜 税 関				

注) 宮城県主要4漁港水揚の年度・四半期の数値および宮城県貿易の年度・四半期・月次の数値は当社集計。

	企 業 倒 産 (負債総額1千万円以上)								宮城県内預金残高		宮城県内貸出金残高	
	件数(件)	前 年 比 (%)			負債額(億円)	前 年 比 (%)			金 額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)
		宮城県	宮城県	東 北		全 国	宮城県	宮城県				
2021年	72	-36.3	-32.4	-22.4	165	-29.6	3.4	-5.7	116,903	4.0	73,451	2.7
2022年	100	38.9	42.1	6.6	227	37.7	-9.1	102.6	120,926	3.4	78,276	6.6
2019年度	139	13.9	18.4	6.4	369	90.0	25.8	-21.9	106,829	1.4	69,593	0.8
2020年度	103	-25.9	-31.0	-17.0	90	-75.6	-58.6	-4.5	115,258	7.9	71,771	3.1
2021年度	86	-16.5	-3.7	-16.5	199	120.9	81.9	-3.3	118,383	2.7	74,245	3.4
'21年10~12月	15	-11.8	-1.4	-12.1	19	31.3	200.1	-10.4	116,903	4.0	73,451	2.7
'22年1~3月	33	73.7	82.5	-3.2	47	269.1	79.6	5.9	118,383	2.7	74,245	3.4
4~6月	17	21.4	34.0	4.4	27	144.9	85.1	336.1	118,317	1.6	74,163	3.1
7~9月	24	0.0	9.5	9.5	47	-61.7	-49.5	34.6	117,752	3.0	74,823	3.5
10~12月	26	73.3	44.3	15.9	106	465.9	-17.5	-1.4	120,926	3.4	78,276	6.6
2022年1月	11	120.0	76.5	-4.6	14	150.3	205.2	-17.8	115,699	2.8	73,258	2.8
2月	11	266.7	181.8	2.9	12	1,659.2	5.0	5.2	116,373	2.6	73,532	3.2
3月	11	0.0	48.3	-6.5	21	219.0	94.2	20.0	118,383	2.7	74,245	3.4
4月	5	25.0	100.0	1.9	2	-60.3	-6.1	-3.4	119,299	3.1	74,176	3.5
5月	6	200.0	57.1	11.0	23	2,520.9	370.4	-48.2	117,212	0.9	74,069	3.3
6月	6	-25.0	-8.0	0.9	2	-59.0	65.3	1,697.7	118,317	1.6	74,163	3.1
7月	4	-50.0	20.0	3.8	9	-92.3	-67.0	18.3	117,710	1.1	74,861	3.8
8月	8	-27.3	-25.9	5.6	33	441.2	14.3	22.5	116,941	1.6	75,031	4.4
9月	12	140.0	56.3	18.6	6	82.0	-57.5	59.4	117,752	3.0	74,823	3.5
10月	15	150.0	88.0	13.5	24	94.1	27.9	-11.6	117,828	2.6	74,939	3.7
11月	3	-50.0	-11.5	13.9	78	1,642.5	90.6	22.8	117,460	2.7	75,158	3.8
12月	8	166.7	63.2	20.2	4	120.9	-76.5	-15.0	120,926	3.4	78,276	6.6
2023年1月	11	0.0	-26.7	26.1	12	-14.8	-46.3	-15.6	120,692	4.3	78,275	6.8
資料出所	(株) 東 京 商 工 リ サ ー チ							日 本 銀 行				

注) ①企業倒産の四半期の数値は当社集計。

②預金残高、貸出金残高の歴年・年度の数値はそれぞれ12月末、3月末、四半期の数値は各期末。

経済日誌 (2023年2月分)

宮 城 県		東 北	
1日	(株)ウェルファムフーズ(東京都)は涌谷町で移転工場の安全祈願祭を行った。総事業費100億円以上を投じて約16,500㎡の事務所兼工場を建設、2024年春操業開始予定。	2日	福島県は2023年度当初予算案を発表した。一般会計総額は前年度当初比5.6%増の1兆3,382億円。復興・創生分(2,581億円)など増加したが、震災後3番目の小ささ。
7日	県は2023年度当初予算案を発表した。一般会計総額は前年度当初比3.2%減の1兆792億円。新型コロナ関連で415億円を計上、震災関連は過去最少の224億円。	6日	岩手県は2023年度当初予算案を発表した。一般会計総額は前年度当初比2.6%減の7,714億円。人口減対策、脱炭素社会、デジタル化の推進、大規模災害対策が柱。
	県と大衡村は(株)信和(山梨県)と協定を締結した。同村内に半導体製造装置用の部品生産工場を建設、鉄骨一部2階建て床面積1,930㎡。3月着工、11月操業開始予定。	8日	東北活性化研究センターは1月の景気ウォッチャー調査結果を公表した。現状判断DI前月比0.2ポイント上昇し、3カ月ぶりの改善。先行き判断DIも同1.7ポイント上昇。
10日	スターラックス航空(台湾)は仙台-台湾便の定期便新設を発表した。4月から1日1往復、仙台空港の国際定期便新規就航は3年半ぶり。同航空の国内就航地は6番目。	20日	青森県は2023年度当初予算案を発表した。一般会計総額は前年度当初比51億円(0.7%)増の7,384億円、基金取り崩し額はゼロで7年連続して収支均衡を堅持。
28日	厚生労働省は人口動態統計(速報値)を公表した。2022年の県内の出生数(13,135人)は前年比626人(4.5%)減と統計開始以降過去最低、死亡者は同2,303人(11.2%)増。	22日	日銀仙台支店は東北の景気の基調判断を「一部に弱さがみられる」として11カ月ぶりに下方修正した。個別項目では生産が「足踏みしている」として11カ月ぶりの下方修正。
国 内		海 外	
7日	総務省は2022年の家計調査結果を公表した。消費支出(2人以上の世帯)は1カ月当たり290,865円で名目では4.2%増、実質では1.2%増とともに2年連続の増加。	1日	米連邦準備理事会(FRB)は政策金利(FF金利)を0.25%引上げ、4.5%~4.75%とした。利上げは2022年3月以降8会合連続、利上げ幅は前回から0.25%縮小。
14日	内閣府は2022年10~12月の国内総生産を発表した。実質成長率は前期比年率0.6%と2期ぶりのプラス、需要項目別では個人消費が同0.4%。	10日	中国国家统计局は1月の消費者物価指数(CPI)を発表した。総合は前年同月比2.1%上昇、エネルギーと食品を除くコア指数は同1.0%の上昇となり、ともに伸び幅が拡大。
16日	財務相は1月の貿易統計を発表した。輸出(6兆5,512億円)、輸入(10兆478億円)ともに1月では過去最大、貿易赤字(3兆4,966億円)は単月で過去最大。	24日	米商務省は1月の個人消費支出(PCE)を発表した。前年同月比5.4%上昇し伸びは前月(5.3%)から拡大、エネルギーと食品を除くコア指数(4.7%)も前月(4.6%)から拡大。
28日	次世代半導体の新会社「Rapidus(ラピダス)」は生産工場を北海道千歳市に建設すると発表した。量産開始(2027年)までの総投資額は5兆円規模の見込み。	28日	インド政府は2022年の実質国内総生産を発表した。実質成長率は6.7%、ドルベースの名目GDPは約3兆3,800億ドルと日本の8割程度、英国を抜き世界第5位。

資料：日本経済新聞、河北新報ほか

# 77R&C

編集

～負けるな、NI！～

後記

AI（人工知能）搭載の ChatGPT が話題ですが、ためしに「東北経済の課題」を問うと 30 秒ほどで「人口減少・高齢化」「産業構造の変化」「地域間格差の是正」「事前災害への対応」の 4 点を挙げ、「地域固有のリソースを活かした新しい産業の育成や若者の定着、地域全体のインフラ整備や観光振興など多岐にわたる取組みが必要」との名回答、これでは筆者失業の日も遠くありません。しかし、AI には 3.11 の東北出身のアスリートのように人々を感動させることは難しいはず。筆者も NI（天然知能）(?) を駆使した感動的な調査で延命を模索します。

(田口 庸友)